

HIMALAYA

ヒマラヤ

No. 300



1996 NOVEMBER



日本ヒマラヤ協会
THE HIMALAYAN ASSOCIATION OF JAPAN — HAJ

1997年サマー・キャンプ登山隊員募集

玉珠峰 (6,179m)

世界の屋根である青藏高原に美しいスノーピークがあります。短い期間で高峰にアイゼンをきしませたいと考えておられる方のために22日間のキャンプを企画しました。(H A Jでは既に2度登頂) 青海省の省都である西寧から西へ約1,000キロ。山中には1週間滞在の予定です。

記

1. 期 間:1997年7月25日～8月17日(24日間)
2. 募集人員:10名程度
3. 負担金:60万円
4. 切り:定員になり次第
5. 資料請求先:H A J事務局

ヌン (7,135m)

インド・ヒマラヤのサマーキャンプとして、1997年夏もカシュミール・ヒマラヤで開催します。カシュミールの盟主ヌンの高峰登山とラダックの素晴らしい雲上のヒマラヤの旅が楽しめます。

記

1. 期 間:1997年7月20日～8月24日(36日間)
2. 隊 員:10名
3. 費 用:75万円
4. 切り:定員になり次第
5. 申し込み:H A J事務局まで

地図と図書の販売

1. 地図 (いずれも中文1枚1,500円 送料込み)
珠穆朗瑪峰:10万分の一(東はマカルーから、西はチョー・オユーまで)
喬戈里峰:10万分の一(東はガッシャーブルムIから、西はクラウン、チリンまで)
希夏邦馬峯:10万分の一(東はモラメンチンから、西はガネッシュ・ヒマールまで)
但し、主峰が8,012mのものである。
公格爾山-慕士塔格:10万分の一(コングールとムスターグ・アタである)
2. 図書
中国登山指南(4,500円+送料340円) 中文
雪域神山(6,000円+送料700円) 写真集。

表紙写真

ヒムルン・ヒマール、ネムジュン、ギャジカンと処女峰の連なる地域も、ようやくにぎやかになってきた。さらに奥にあるラトナ・チュリにも信大とネパールの合同隊が挑み、ヤル・ツァンポーをはさんで北にそびえるルンポ・カンリにもH A Jが挑んだ。写真は左からヒムルン・ヒマール(7,126m)無名峰(7,098m)、ネムジュン(7,139m)、ギャジカン(7,038m)、ギャジカンに重なるように後方にマナスルが見えている。右端はP29。

(撮影:H A Jブリクティ・サイル登山隊)

ヒマラヤ No.300

1. アンケート調査 現代のヒマラヤ志向とは?

24. ヒマラヤ・ニュース〈地域ニュース・トピックス・Books・ヒマラヤから〉

28. 寸感・事務局日誌

現代のヒマラヤ志向とは？

日本のヒマラヤ登山は、1980年代に入って二極化に進んだが、1990年代になると魅力ある7,000m峰の登山は衰退し、8,000m峰のノーマル・ルートシェルパなどの高所協力員を多数雇用して登頂する傾向が急速に定着し、それがエヴェレストの両面で行われるようになった。

今回のアンケートは、1979年、1988年に続いて3回目のものであるが、3回のアンケート結果をみることによって日本のヒマラヤ登山の推移を知ることができるのではないと思う。

今回の対象者は、最近までヒマラヤ登山を実施している人をリストアップし、遠征中の人を除く96名にアンケートを送り47名から回答を得た。掲載は順不同です。尚、次号にてアンケート結果の統計を載せ、より立体的な「現代のヒマラヤ志向」を報告します。

質問事項

- I あなたはヒマラヤ登山に何を求めますか？
- ・未知の探求 ・困難の追求 ・未知と困難の追求 ・楽しさと健康の維持 ・その他
- II あなたはヒマラヤ登山において、どのようなチームによる登山を最も好みますか？
- ・所属する単一山岳会 ・ヒマラヤ登山のための同人 ・国内広域チーム ・外国との合同チーム ・単独 ・その他
- III あなたはヒマラヤ登山においてどういう形態に最も興味を持ちますか？
- ・オーソドックスな方法によるピークハント
 - ・壁の登攀 ・二つ以上のピークの縦走
 - ・速攻登山（アルパイン・スタイル） ・巨峰（8500m級）の無酸素登山 ・冬期登山 ・その他
- IV あなたはヒマラヤ登山ではどの地域に最も興味を持ちますか？
- ・東部ヒマラヤ（アルナチャール、ブータン、グレート・ベンド） ・ネパール ・インド
 - ・カラコルム、ヒンズークシュ ・天山、パミール、崑崙、アルタイ ・チベット ・横断山脈、長江 ・黄河上流域 ・その他
- V あなたが好きなヒマラヤの山を好きな順に5つ挙げて下さい。
- VI あなたが今一番行きたいヒマラヤの山はどこですか？（許可は度外視）
- VII あなたにとってヒマラヤ登山実施上、主たる障害は何ですか？
- ・資金 ・時間 ・休暇 ・組織 ・情報
 - ・手続き ・家庭 ・健康 ・その他
- VIII あなたは特にヒマラヤ登山のために、日常何らかの活動を行っていますか？ 内容を簡単に記して下さい。
- ・トレーニング ・その他
- IX あなたは低圧実験室で、ある程度の日数トレーニングを受けて、ヒマラヤ登山を実践することについて、どのように思われますか？理由を簡単に記して下さい。
- ・賛成である ・反対である ・自分は受けないが他人が受けるのは自由（理由）
- X あなたがヒマラヤ登山関係で読まれた書籍の中で一番影響を受けた、又は、感動した書籍名を挙げて下さい。
- ・書籍名 ・著者名
- XI あなたが最も影響を受けたヒマラヤニストを挙げて、理由を簡単に記して下さい。
- ・外国人名（理由） ・日本人名（理由）
- XII あなたは戦後の日本のヒマラヤ登山に影響を与えた人は誰だと思いますか？3人を挙げてその理由を簡単に記して下さい。

XIIIあなたは8500m峰の登頂を終えて、疲労困憊して下山中に8000mラインで動けないで助けを求めた人がいた場合、死を覚悟して救助しますか？簡単に理由を述べて下さい。

- ・救助する
- ・救助しない

XIVあなたはヒマラヤ登山を実行する時、テイクイン、テイクアウトを実践していますか？

- ・テイクイン している していない
- ・テイクアウト している していない

XVあなたはヒマラヤ登山のBCでトイレを指定して、使用後のトイレット・ペーパーは焼却していますか？

- ・トイレを 指定している 指定していない
- ・ペーパーを 焼却している 焼却していない

XVIあなたはヒマラヤ登山を実行する場合、テイクイン、テイクアウトについて計画書に載せ、報告書に載せていますか。

- ・計画書 載せている 載せていない
- ・報告書 載せている 載せていない

XVIIあなたのヒマラヤ登山について、家族は充分に理解していますか？

- ・理解している
- ・理解していない
- ・その他

XVIIIあなたにとって魅力あるヒマラヤ登山とは、どのようなものか、簡単に記して下さい。

XIXあなたが日本の現在のヒマラヤ登山に注文することはなんですか？

XXあなたは21世紀の日本のヒマラヤ登山は、どのようなになると思われますか？

・江崎幸一

I 未知の探求と困難の追求

II 所属する単一山岳会

III 速攻登山（アルパイン・スタイル）

IV ネパール

V 1.マカルー 2.K₂ 3.エヴェレスト 4.プモリ
5.ジャヌー

VI エヴェレスト

VII 資金 休暇 組織 健康

VIII トレーニング：ウェイトトレーニング

その他：資料集め

IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 各自の考え方ですばい。

X 八千メートルの上と下（ヘルマン・プール）

XI 外国人：ラインホルト・メスナー 八千米峰全山登頂

日本人：八木原罔明 群馬のヒマラヤ登山をリード

XII 1.横有恒 マナスル登山の成功

2.小西政継 ジャヌー、カンチェンジュンガ、エヴェレストなどの成功

XIII 救助しない：余裕がなければできないと思う。

XIV している している

XV 指定している 焼却している

XVI 載せている 載せている

XVII わからない

XVIII 十分な余裕と楽しい仲間がいる登山

XX 手順が簡単になり、周りの理解が得やすい環境
XXI 中高年齢層パーティーによる体力の限界登山が流行すると思う。

（えぞき こういち 44才 妻有子供1人 喫煙無 飲酒無 睡眠6時間 車免許有 えぞ山岳会 北海道山岳連盟 H A J）

池田錦重

I その他（もっと一般化させたい）

II ヒマラヤ登山のための同人

III オーソドックスな方法によるピークハント

IV 東部ヒマラヤ、カラコルム、天山

V 1.カンチェンジュンガ 2.ダウラギリ 3.チョー・オユー 4.ガッシャーブルム 5.マカルー

VI ガッシャーブルム II

VII 時間 家庭

VIII トレーニング：週3回各2時間（ランニング 自転車 水泳）

IX 賛成である 自分の低圧に対する体の認識ができる。

X 処女峰アンナプルナ（モーリス・エルゾグ）

XI 外国人：なし

日本人：なし

XII 1.ティルマン ネパール旅行

2.シプトン エヴェレスト偵察前後

3.エルゾグ アンナプルナの登頂

XIII 救助しない この高さでその余力が自分にある

とは思えない。

XIV している している

XV 指定している 焼却している

XVI 載せていない 載せていない

XVII 理解していない

XVIII 自分自身にとり、新しい土地に入り、自分の目と頭で山を判断し、好きな登山をする。

XIX ヒマラヤ登山を特別なものとしてみない方がよい。どこにいても登山は登山である。

XX 日本の山での登山と同じになる。

(いけだ かねしげ 57才 妻有子供2人 喫煙無 飲酒有 睡眠8時間 車免許有 桜門山岳会 日本山岳会)

吉村千春

I 未知の探求と困難の追求

II その他：対象の山によって組織を利用、あるいは個人的なチームで登る場合もある。

III 壁の登攀 速攻登山

IV 東部ヒマラヤ 天山 チベット 横断山脈

V 1. 面茨畑 2. ミニヤ・コンカ 3. 梅里雪山
4. チョゴリ 5. ハン・テングリ (中国側)

VI 梅里雪山

VII 資金 家庭 (子供) その他 (経営している会社の存続)

VIII トレーニング：自転車通勤～片道1時間～と昼休み1時間のランニング

IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由

X 処女峰アンナプルナ (モーリス・エルゾーグ)

XI 外国人：H・W・ティルマン 憧れる生き方
日本人：高見和成 身近な人

XII 1. 今西錦司 パイオニアワークの開拓者
2. 小西政継 バリエーション登山の先駆者
3. 山野井泰史 単独登攀で一つの世界を切り拓いている。

XIII 救助する：遭難者が救助して生存する可能性が有る場合、こちらがくたばらない所までは救助したいが……。8500m峰登頂後ということなのでほとんど無理かな？

XIV している している

XV 指定している 焼却している

XVI 載せている 載せている

XVII 理解している (少なくとも妻は)

XVIII 未知のルート、未登の山。既登のルートでは満足できない。

XIX 若い人の“思考の停止”と思われるような8000m峰のノーマルルート登山は、いかがなものか？

XX 極々少数の精鋭クライミングと大衆ヒマラヤ登山に分れると思うが、遠征の数は減っていくだろう。

(よしむら ちはる 37才 妻有子供2人 喫煙無 飲酒ビール1缶 睡眠6～7時間 車免許有 京大学士山岳会 広島山の会 日本山岳会京都支部)

名塚秀二

I 困難の追求

II ヒマラヤ登山のための同人

III 冬期登山

IV ネパール

V 1. チョゴリ 2. ダウラギリ I 3. マカルー
4. カンチェンジュンガ 5. ナンガ・パルバット

VI マカルー

VII 資金

VIII トレーニング：特に行なっていない

IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 短期速攻の定義がBCへ入ってから何日とわかっていないが、例えばチョー・オユーなどBCへ入りながら順応させ、約3週間でABCへ帰ってこられるのであまり必要としない。

X 処女峰アンナプルナ (モーリス・エルゾーグ)

XI 日本人：八木原愔明 ヒマラヤの大変な事、又楽しさを教えてくれた。

XII 1. JAC マナスル登山隊1956 マナスル初登頂により、登山という行為を普及させた。

XIII 救助する その時になってみなければわからない。

XIV している している

XV 指定している 焼却している

XVI 載せている 載せている

XVII 理解している

XVIII バリエーション・季節を選択する

XIX 8000m峰へのバリエーションを目指してもらいたい。

XX中高年を中心に公募又は同人組織による8000m
有酸素登山
(なづか ひでじ 41才 妻有子供無 喫煙15
本 飲酒有 睡眠7時間 車免許有 前橋山岳会)

福島正明

I 未知の探求と困難の追求
II ヒマラヤ登山のための同人
III 速攻登山 巨峰の無酸素登山
IV ネパール カラコルム チベット
V1. K₂ 2. ローツェ 3. ガッシャーブルム II
4. ガッシャーブルム I 5. チョモランマ
VI ナンガ・パルパットとガッシャーブルム IV
VII ない
VIII トレーニング：心肺機能の強化、岩登り技術の
向上
IX 賛成である 高所登山は順応がポイントになる
ため、その機会が得られるのなら、ためらわず
に試みた方がよいと思う。
X ヒマラヤ第三の極地（ディーレンフルト）
XI 外国人：ヘルマン・ブール 名誉に捕われない
真の岳人
XII 1. 植村直己：山は体力だと教えた
2. 禿博信：アルパイン・スタイルの実証
3. 山田昇：8000m 峰14座への追求
XIII 救助する：アルピニストだから。しかし登山の
本質からいえば不要な行為。
XIV している している
XV 指定している 焼却している
XVI 載せていない 載せていない
XVII 理解している
XVIII 山名はどうでもよい。ただ闘うにふさわしい登
山が魅力
XIX 初心に戻り「より高さより困難をめざす」登山
をして欲しい
XX 中高年ヒマラヤ登山隊の増加
(ふくしま まさあき 45才 妻有子供2人
喫煙無 飲酒多量 睡眠10時間 車免許無 ベ
ルニナ山岳会 ヒマラヤ同人 遊歩登山学校)

寺沢玲子

I 未知の追求

II あまりこだわらない。登山内容によって異なる。
III オーソドックスな方法によるピークハント
IV インド
V1. パンチ・チュリ II 2. ナンダ・デヴィ 3. ニ
ルカント 4. K₂ 5. アンナプルナ I
VI パンチ・チュリ II
VII 資金 時間 家庭 健康
VIII トレーニング：水泳 ストレッチ 国内山行
その他：情報収集
IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 基本
的には個人の自由だと思う。広く考えれば個人
のタクティクスによる固定ロープや高所ポーター
と同様とも思える。
X 処女峰アンナプルナ（モーリス・エルゾーグ）
XI 外国人：ハリシュ・カパディア 情報収集のセ
ンスとそれに伴う実践
日本人：八木原暁明 後に続く者を育てていく
事の如何に大切かを感じさせてくれた
XII 1. 榎有恒：マナスルの成功で日本にヒマラヤ登
山に限らず登山ブームを起こした
2. 田部井淳子：子持ちの田部井さんのエヴェレ
スト登頂により、女性の行動範囲が広げやす
くなった
3. 小西政継：ヒマラヤでのパリエーションが日
本人にも可能である事を示した
XIII 救助しない：気持ちはあっても現実に己が超高
所に行けたとしたら体力的にも精神的にも余裕
があるとは思えない。
XIV している している
XV 指定している 焼却している
XVI 載せている 載せている
XVII 理解している（と思う）
XVIII 良い仲間を作り現地の人々とも交流し、登れて
も登れなくても「この山に来て良かった」と思
える様な登山
XIX 登山活動そのものは個人の自由だが、最近現地
事情の事前調査不足に起因するつまらないトラ
ブルが増えている。目的の山だけでなく現地事
情の情報も収集してから出発して欲しい。
XX 極分化が更に進み、登山者数も増すが初歩的な
ミスによる事故も増すと思う。
(てらさわ れいこ 45才 夫有子供無 喫煙

無 飲酒無 睡眠5～6時間 車免許無 HA
J わらじの仲間OG)

関根幸次

- I 未知の追求
- II 所属する単一山岳会
- III オーソドックスな方法によるピークハント
- IV インド カラコルム
- V1.K₂ 2.マッシュャーブルム 3.チョゴリザ
4.ヌン 5.シヴリン
- VI コングール
- VII 健康
- VIII トレーニング：週末に山に行くことが最大のトレーニング
- IX 反対である 低圧実験室の経験を過信してしまうから
- X 処女峰アンナプルナ (モーリス・エルゾーグ)
- XI 外国人：ヘルマン・ブル 未知と困難に向かう
- XII 記する人物は別にいません。
- XIII 救助しない：それだけの体力がなく、自分に救助するだけの余裕がない。
- XIV している している
- XV 指定している 焼却している
- XVI 載せている 載せている
- XVII 理解している
- XVIII 日本国内で経験できない山の世界があり、未知の対象が沢山あり、興味が回数を重ねる度に大きくなる、物見遊山ではない意味で。
- XIX 登山はマイナーなスポーツ化している。PRしても若い世代は関心がないようだ。私達の会においても“ヒマラヤ、興味ないね”と断わられてしまう。
- XX 減少傾向にあると思う。
(せきね こうじ 62才 妻有子供2人 喫煙無 飲酒無 睡眠7時間 車免許有 わらじの仲間 HA J)

林文章

- I 未知の追求
- II 従属する単一山岳会
- III オーソドックスな方法によるピークハント
- IV 東部ヒマラヤ ネパール

- V1.K₂
- VI 今のところVisionなし
- VII 休暇 組織
- IX 特に考えはない
- X 青春を山に賭けて (植村直己)
- XI 外国人：メスナー 登り尽くした事で登山家に登山とは何かをもう一度考えさせる。
日本人：植村直己 気持ちと行動が一致し自然体であった事
- XII 1.植村直己：登山そのものの楽しさを教えてくれる。
2.原真：高所登山の医学について
3.八木原罔明：群馬岳連の活躍
- XIII ?：可能性があれば助ける。自分も相手も共に死ぬことが明らかな状況では、できる限りの物やアドヴァイスを与え、下山する事もあり得る。
- XIV している している
- XV 指定している 焼却している
- XVI 載せていない 載せていない
- XVII 理解している
- XVIII 未知である事、現地の人々との交流がある事、気心の知れた仲間と登る事、生命を第一に考える事。
- XIX 自然にやさしい事
- XX 困難を求める登山や初めての試みにこだわる事がなくなり、仲間同志で自分たちなりの登山をするようになると思う。
(はやしもと あきら 32才 妻有子供1人 喫煙15本 飲酒ビール1本 睡眠7時間 車免許有 弘前大学山岳部)

名越實

- I その他：非日常、驚異と狂喜を求めて
- II その他：力量の合った小人数
- III その他：壁又は稜のアルパイン
- IV ネパール インド カラコルム チベット 横断山脈
- V1.サルトロ・カンリ 2.ジャヌー 3.K₂
4.シヴリン 5.ガッシュャーブルムIV他
- VI サルトロ・カンリ西壁
- VII 資金 その他：実力
- VIII トレーニング：自転車での坂登り、ウェイトサー

キット、ボードクライム

その他：英会話、地域研究

IX自分は受けないが他人が受けるのは自由 実験室が近くにない、金がかかりそう、自分への効果が疑問。

Xキャンプ・シックス (F・S・スマイス)

XI外国人：ダグ・スコット 登山のモチベーションに共感する

日本人：無回答 大勢いるが敢えて名をあげると他の人からクレームが来そう

XII1.深田久弥：「ヒマラヤの高峰」等による啓蒙とライトエクスペディションの実践

2.今西錦司：良くも悪くも日本人の遠征のスタイルと方向を示した

3.原真：遠征組織、トレーニング、低圧実験、速攻登山……と次々に新しい方法や考えを実行、実証した。

XIII救助しない：自分の遊びの落し前は自分で付ける。

XIVしている している

XV指定している 焼却していない

XVI載せていない 載せている

XVII妻は理解しようとしているが、母や子供達は理解できないでいる。

XVIII出来そうもない事を計画し、仲間を募り、トレーニングし、自分達の納得できるやり方で登りきる、そんな登山。

XIX他人の遊びに注文はできない。自分としては、世界の誰が見ても(力量は別にして)「あれはフェアーだ」というような登り方を志向したい。

XX多分このままでは欧米の後を追ってゆく事になるのだろう。「岩と雪」に代わる情報源(インターネットでも良い)がないと、全ての活動が尻すばみになる事は目に見えている。

(なごし みのる 48才 妻有子供3人 喫煙無 飲酒有 睡眠6時間 車免許有 広島山岳会 H A J 日本山岳会)

原田達也

I 未知の探求 楽しさと健康の維持(齢を重ね無理な行動ができなくなったので)

II ヒマラヤ登山のための同人

III オーソドックスな方法によるピークハント

IV カラコルム

V 1.K₂ 2.チョゴリザ 3.カンジュトサール 4.ハラモシュ 5.ナンガ・パルバット

VI チョゴリザ

VII 資金(ただただお金だけ)

VIII トレーニング：丹沢など近くの山々へできるだけ多く行くこと。

IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 精神的な面でプラスになると思う、特に初遠征の人には…。

X 地図の空白部(シプトン)

XI 外国人：ティルマン 未知の追求

日本人：深田久弥 ヒマラヤへの憧れ

XII 1.今西錦司：パイオニアワークなど

2.桑原武夫：AACKの活動など

3.小西政継：無酸素登山などなど

XIII 救助しない：救助したくとも、体力的にも全てについて余力がない。

XIV している している

XV 指定している 焼却していない

XVI 計画書報告書共に載せたり載せなかったり

XVII 理解している(と思う)

XVIII 好きな仲間と好きな山姿(だけではないが)の山へ

XIX 色々なスタイルの登山があっていいし、実現して欲しい。できるだけ遭難しないように…。

XX 公募隊が多くなるのでは…。それと同人によるアルパインか？

(はらだ たつや 61才 妻有子供無 喫煙20本 飲酒ビール2本 睡眠7時間 車免許無 神奈川ヒマラヤンクラブ 京都カラコルムクラブ 京都教育大学山岳部OB会)

熊田雅史

I 未知の探求と困難の追求

II ヒマラヤ登山のための同人

III 冬期登山

IV カラコルム

V 1.K₂ 2.ナンガ・パルバット 3.マッシュャー・ブルム 4.ティリッチミール 5.エヴェレスト

VI 冬のヒンズークシュ、カラコルム

VII資金 時間 その他：年令

VIIIトレーニング：無回答

その他：山を考えると質素な生活

IX自分は受けないが他人が受けるのは自由 身近にあればトライしても良いが。

X凍れる河（オリヴィエ・フェルミ）

XI外国人：クルト・ディームベルガー このオッサン只者ではない……。

日本人：山田昇 もっとエネルギーを吸収したかった。

XII1.池田常道：雑誌を通して情報を提供した

2.ラインホルト・メスナー：登山思想をO₂レスで実践した。

3.原真：明晰な文章の影響

XIIIするもしないも人としての本能であり、理性の介在できる場ではないと思う。

XIVしている している

XV指定している 焼却していない

XVI載せていない 載せていない

XVII理解していると思っている

XVIII無心になり満たされること

XIX自立的な思考と行動、英語を身につけること。

山岳ジャーナリズムはヒマラヤ登山を見る眼を養って欲しい。

XXアルパインクライミングをみっちりやった人のみが記録を伸ばすだろう。健康の為に行く人は増えると思う。

（くまだ まさふみ 40才 独身 喫煙15本 飲酒無 睡眠7時間 車免許無 同人パイネニアソブ 明大駿台山岳部OB会 HAJ）

成末洋介

I 未知の探検と困難の追求

II ヒマラヤ登山のための同人

III オーソドックスな方法によるピークハント

IV ヒマラヤ全部

V1.K₇ 2.ナンパ 3.ナンダ・デヴィ 4.ラカポシ 5.チャー・オユー

VI ボバイエ

VII 休暇

VIII トレーニング：ジョギング週50km

その他：〈52歳〉なので精神的に常に刺激を与

えること

IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 一度受けた事があるが、手間の割に効果に疑問

X 無名峰の聳える国（ヘルベルト・ティヒー）

XI 外国人：ハインリヒ・ハラール 不屈の闘志

日本人：新貝勲 身近な先輩

XII1.今西錦司：パイオニアワーク

2.小西政継：ヒマラヤ鉄の時代実践

3.植村直己：世間の注目

XIII 救助しない：登山の実行は自己責任

XIV している している

XV 指定している 焼却している

XVI 載せていない 載せていない

XVII 理解していない

XVIII 自由な発想による、気の合った仲間達とのパレエティーある山行。例えばスキーを使ったり、パラグライダーで飛んだり。

XIX 特になし

XX 見当もつかない

（なりすえ ようすけ 52才 妻有子供有 喫煙5本 飲酒1本 睡眠8時間 車免許有 福岡GCC HAJ）

坂原忠清

I 未知の探検と困難の追求 楽しさと健康の維持

II ヒマラヤ登山のための同人

III オーソドックスな方法のピークハント 速攻登山

IV チベット

V1.K₂ 2.ナンガ・パルバット 3.ガッシャーブルムIV 4.ローツェ

VI ガンケールブンズム

VII 時間 休暇

VIII トレーニング：ジョギング

IX 賛成である 効果はないが高所障害を体験することができる

X 八千mの上と下（ヘルマン・ブール）

XI 外国人：メスナー 哲学者としての視点がある
日本人：なし

XII1.植有恒：ヒマラヤの日本のパイオニア

XIII 救助しない：自らの死には自らが責任を持つべきである。

XIV無回答 している
XV指定している 焼却していない
XVI載せていない 載せていない
XVII理解している
XVIII生命を実感できる登山
XIX大遠征隊を組まない
XXポーターレス、O₂レス、スポンサーレス。
(さかはら ただきよ 51才 妻有子供2人
喫煙無 飲酒ビール1本 睡眠8時間 車免許有
有 スピダーニエ同人 日本教員登山隊)

睦好正治

I 未知の探求
II ヒマラヤ登山のための同人
III オースドックスな方法によるピークハント
IV 東部ヒマラヤ 横断山脈
V ガンケルプンスム
VI 時間
VII トレーニング：ランニング
その他：学習会への参加や企画
IX 賛成である ただし1日では効果はない。
X K₁₂峰遠征記(岩坪五郎)
XI 1.植村直己
2.今西錦司
XII 救助しない：多分全力をかけて下山しないと自分の命が危いから。
XIII している している
XIV 指定している 焼却していない
XV 載せていない 載せていない
XVI 理解している
XVII シンプル
XVIII 金をかけすぎること、人手に頼りすぎること。
XIX 大衆化する
(むつよし まさはる 29才 独身 喫煙無
飲酒1本 睡眠6時間 車免許有 京都大学山
岳部 早稲田中高山岳部 AACK)

林雅樹

I 未知の探求と困難の追求
II その他：必ずしも同じ山岳会や同人でなくても良いが、少人数で力のそろったメンバーと組みたい。

III オースドックスな方法をできるだけシンプルにしてアルパイン・スタイルに近づける。
IV カラコルム
V 1.ナンダ・デヴィ 2.ガッシャーブルム I 3.カルン・コー 4.ドゥナギリ 5.カンピレディ・オール
VI ナンダ・デヴィ
VII 資金
VIII トレーニング：マラソン(年に何度かレースに出場して常に自己ベストを目指す)
IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 山の登り方は基本的に自由だと思う。
X 処女峰アンナプルナ(モーリス・エルゾーグ)
XI 外国人：ラインホルト・メスナー 少人数によるアルパインスタイル登山の実践
日本人：原真 日本人による少人数アルパインスタイルの実践
XII 1.今西錦司：日本のヒマラヤ登山のパイオニア
2.小西政継：日本のヒマラヤ鉄の時代の実践的リーダー
3.原真：日本人による少人数アルパインスタイル登山の提言と実践
XIII 救助しない：救助できない。自分でもし8000mで動けなくなっても、救助を求めない。自分で自分のことができる範囲内で行動を選択すべきで、それを越えた行動をした場合は、自分の責任であり誰の責任でもないと思う。
XIV している している
XV 指定している 焼却している
XVI 載せている 載せていない
XVII 理解していない
XVIII 少人数による新ルートの開拓、できるだけアルパインスタイルに近い形でできるだけシンプルなもの
XIX 特にない
XX 大規模なイベント登山と、少人数による先鋭登山、やさしい山のピークハント登山の三極分化が更に進み、いずれ大規模隊は減っていくと思う。
(はやし まさき 32才 独身 喫煙無 飲酒無 睡眠6時間 車免許無 京都クライマーズクラブ HAJ)

佐藤光由

- I 未知の探求と困難の追求
- II 所属する単一山岳会
- III 壁の登攀 冬期登山
- IV ネパール カラコルム
- V 1.ダウラギリ I 2.マチャプチャレ 3.サガルマータ 4.K₂ 5.アンナプルナ I
- VI K₂
- VII 資金 家庭
- VIII トレーニング：出発前に行うだけです。
その他：月1～2回のヒマラヤ会議
- IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 今の時代には愚問です。
- X 処女峰アンナプルナ（モーリス・エルゾーグ）
- XI 外国人：クリス・ボンントン 書くまでもありません。
日本人：宮崎勉 ヒマラヤ登山のノウハウを10年以上教えられています。
- XII 1.横有恒：やっぱり日本人最初の8000m マナスルです。登山ブームを馬鹿にできません。
2.小西政継：山及びルートの選定、シェルパの使い方そしてPR、日本のヒマラヤ登山を世界レベルに近づけたと思います。
3.八木原聡明：ヒマラヤ冬期バリエーション登山の先駆者
- XIII 救助しない：基本的に山での救助活動はヒマラヤに限らず体力、技術、精神力に余裕がある場合に行う事です。死を覚悟してまで行うことはありません。
- XIV している している
- XV 指定している 焼却している
- XVI 載せている 載せている
- XVII ある程度理解している
- XVIII ジャイアンツ（8000m以上）の厳冬期登攀
- XIX ノーマルシーズン、ノーマルルートの登山が多すぎます。困難への追求がなければ世界の尾根であるヒマラヤが低くなるだけです。
- XX ヒマラヤ高峰登山の大衆化がすすむ。
（さとう みつよし 35才 妻有子供1人 喫煙10本 飲酒2本 睡眠7時間 車免許有 群馬ミヤマ山岳会 群馬岳連海外登山研究会 H

A J)

大宮求

- I 楽しさと健康の維持
- II ヒマラヤ登山のための同人
- III オートドックスな方法によるピークハント
- IV カラコルム
- V 1.チョモランマ 2.ナンガ・パルバット 3.K₂ 4.マナスル 5.マカルー
- VI ビアフォ氷河近くの未踏峰
- VII 休暇
- VIII トレーニング：ランニング
- IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 国内でも山を歩く事の方が効果があると思うから。
- X ヒマラヤ（ケニス・メイスン）
- XI 外国人：ヤング・ハズバンド 今より困難な中でヒマラヤ探求を続けたから
日本人：原真 高所順応を科学的に解こうとしているので…
- XII 1.横有恒：マナスルを組織して成功させた。
2.加藤保男：山にスマートさを持ち込んだ。
3.植村直己：情熱さえあればヒマラヤに行ける事を実践した。
- XIII 救助する：できる範囲でやる。
- XIV している している
- XV 指定している 焼却していない
- XVI 載せている 載せている
- XVII 理解している
- XVIII 協調性のある仲間と楽しく登ること。
- XIX 日本の登山隊同志もっと協力しあってムダを少くする努力をする事。
- XX 入山、下山のアプローチが道路整備他で近くなる代りに高所順応不足事故が増えると思われる。
（おおみや もとむ 47才 独身 喫煙無 飲酒ビール2本 睡眠7時間 車免許有 山岳同人B.S.R 山学同志会 日本山岳会）

吉野淳

- I その他：20～30代は困難性を追求、40代以降は未知の探求と楽しさと健康の維持を考えたい。
- II 所属する単一山岳会
- III 壁の登攀 速攻登山 40代以降はオートドック

ス

IVネパール カラコルム チベット

V1.ヒマルチュリ 2.チョモランマ 3.カンチェン
ンジュンガ 4.マカルー 5.K₂

VIエヴェレスト西稜

VII資金 時間

VIIIトレーニング：年間100～150日間の山行をして
いるため、これがトレーニングと思っている。
他にはあまりやっていない。

IX自分は受けないが他人が受けるのは自由 経験
のない人は受けた方が良いと思う。

Xマカルー西稜（ヤニック・セニョール）

XI外国人：クリス・ボニントン 大きな登山隊を
率いている時も究極の登山をしていても、人
間味あふれるハートを持った行動が好き。

日本人：貫田宗男 いつもそばにいてアドバイ
スしてくれる。

XII1.横有恒：日本のヒマラヤ登山で最も価値のある
登山だった。

2.小西政継：日本のクライマーをヨーロッパの
レベルに引き上げた。

3.池田錦重：中高年ヒマラヤ登山隊の台頭で、
「アルピニズム」が日本の登山界から急速に衰
退し、組織から個人へとヒマラヤを身近なもの
にして行った。

XIII自分の仲間であれば死のリスクを背負っても救
助するが、初対面や言葉の通じない隊の人であ
ればリスクは背負えないと思う。

XIVしている している

XV指定している 焼却している

XVI載せている 載せている

XVII充分とは言えないが大筋理解していると思う。

XVIII個人の夢や意志を優先させる隊で登山ができる
事。

XIXタイトル争いのような登山はもう終りにして大
衆化に力を入れる事。

XX個人が山を選び個人が頂上を狙う時代。

（ふるの きよし 41才 妻有子供無 喫煙無
飲酒無 睡眠6時間 車免許有 桜門山岳会
日本山岳会）

広島三朗

I 未知の探求と困難の追求

II ヒマラヤ登山のための同人

III オールドソックスな方法によるピークハント

IV カラコルム

V1.K₂ 2.チョゴリザ 3.ナンガ・パルバット
4.ブロード・ピーク 5.パルトロ・カンリ

VI チョゴリザ

VII 休暇

VIII トレーニング：なるべく日常的に山に行く、エ
スカレーターを使わない、日常的に歩く。

IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由

X 処女峰アンナプルナ（モーリス・エルゾーグ）

XI 外国人：ラインホルト・メスナー ヒマラヤの
無酸素ピークハンター

日本人：加藤泰安 ヒマラヤのピークハンター

XII1.新貝勲：地方の時代の具現化

2.坂下直枝：チャレンジ

3.原真：速攻登山理論の確立

XIII救助しない：自分に救助する力はないだろうし
本来ヒマラヤは自分の力で登りそして下ること
にある。

XIVしている している

XV指定している 焼却している

XVI載せている 載せている

XVII理解している

XVIIIヒマラヤこそ自分等の力でルートを拓き、自分
等の力で登る。

XIX多くの登山隊が集中する8000mにこだわるか、
年一隊あるいは数年に一隊が目指す7000m峰が
面白い。

XX過疎と過密、商業主義登山の隆盛。

（ひろしま みつお 53才 妻有子供2人 喫
煙無 飲酒有 睡眠6時間 車免許無 神奈川
ヒマラヤンクラブ 日本山岳会 神奈川県高体
連登山部）

近藤和美

I 未知の探求と困難の追求

II その他：形式には全くこだわっていないが、こ
れまではほとんど国内広域チームだった

III 速攻登山（アルパイン・スタイル）

IV その他：地域にこだわらない

V1.ナンダ・デヴィ 2.マチャプチャレ 3.K₂
4.エヴェレスト 5.ナンガ・パルバット

VIナンダ・デヴィ

VII資金 その他：加齢からくる体力面の問題

VIIIトレーニング：怠惰な性格ゆえ昔から何もしていない。それでは「より困難な」登山が目指せるわけではないことは分かっているのだが…。

IX自分は受けないが他人が受けるのは自由 設問に示された程度の低圧訓練が有効であるとは思えない。有効でなかった実例をいっぱい見ている。

X8000mの上と下（ヘルマン・ブール）

XI外国人：ラインホルト・メスナー シンプル登山（アルパイン・スタイル）思想を普遍化した功績はきわめて大きい。もちろん、ヒマラヤに限らず世界中の山であれだけの業績を挙げて、なおかつ生き延びていることも尊敬に値する。

XII1.原真；低圧訓練は別として、高所順応の基本理論の普及に多大な功績を残した。

2.ラインホルト・メスナー：XIに同じ理由

3.山野井泰史：理由は述べるまでもないだろう。彼と同水準の登山を出来る者はそうそう現れないだろうが、次代のヒマラヤニストたちに有形無形の影響力を高めていこう。事故に無縁であることを祈る。

XIII救助しない：「疲労困憊しての下山中」という設定では、實際上、救助できる余力などない。

XIVしている している

XV指定している 焼却している

XVI載せていない 載せている

XVII理解している

XVIII論理的な（危険性の少ない）ある程度難しいルートを、出来るだけ少人数で、人工的手段も減らしてスッキリ登ること（要はアルパイン・スタイルか）。現実には費用面（登山許可料の高騰）で実現が難しいが。

XIX登山界だけでなく、山岳ジャーナリズムやマスコミに対する注文にもなるが、読者受けする（とマスコミ自身が思い込んでいる？）大登山隊による鳴物入り登山が、その登山の客観的評価とは無関係に、もてはやされ過ぎやすいの

はヒマラヤ登山（アルピニズム）の発展を歪めているのではないか。もちろんマスコミ受けを狙う大登山隊と持ちつ持たれつのある関係もあるのだろうが。

XX最尖鋭から超大衆化まで、すでに1980年代に現われている「何でもあり」状況がいつそう進むのではないか。

（こんどう かずよし 妻有子供無 喫煙無
飲酒無 睡眠8時間 車免許無 峰凌俱樂部
H A J）

野沢井歩

I 未知の探求

II ヒマラヤ登山のための同人

III 速攻登山

IV ネパール

V1.ダウラギリ I 2.マカルー 3.ガッシャーブルム IV 4.ナンガ・パルバット 5.ラカボン

VI ガンケル・プンスム

VII 資金

VIII トレーニング：週末に山へ登る事

IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由

X ヒマラヤ冒険物語（クリス・ボニントン）

XI 外国人：ヘルベルト・ティッヒー 小登山隊で望んだチョー・オユーの初登は素晴らしい事だと思う。性格も好きです。

日本人：特になし

XII1.モーリス・エルゾグ：初の8000m峰登頂アンナプルナ登山の書は名作で皆読んでいるから。

2.クリス・ボニントン：素晴らしい登攀をし、著書を多く残しているため。

3.ラインホルト・メスナー：8000m峰14座を登り、単独、無酸素、アルパイン・スタイルなどの話題を与えたから。

XIII救助する：その場の状況、自分の体調にもよるが、救助したい。

XIVしている している

XV指定している 焼却している

XVI載せていない 載せていない

XVII理解していると思う。

XVIII気の合った仲間数人だけで未知なる山に登れた。

XIXアルピニズムの追求

XX8000m峰や7000m、6000mの人気ルートに集中。
ビッグウォールの登攀が盛んになるのでは。
(のぞわい あゆみ 32才 独身 喫煙無 飲
酒2本 睡眠6時間 車免許無 バーバリアン
クラブ HAJ)

酒井國光

I 楽しさと健康の維持
II 所属する単一山岳会
III 冬期登山
IV 横断山脈、長江・黄河上流域
V1.K₂ 2.チョゴリザ 3.シニオルチュー
4.ダウラギリ I 5.マチャプチャレ
VI 6000mクラスの未登峰
VII 休暇
VIII その他：つとめて山へ行くことのみ。
IX 賛成である トレーニングによる効果を認める。
より安全に登山が行え、登頂の可能性が広がる。
X OUR EVEREST ADVENTURE (ジョン・ハ
ント)
XI 外国人：モーリス・エルゾグ 人間の生活に
は他のアンナプルナがある、登山家と言えど
も社会人、究極はこれだ!!
日本人：？ すぐやめる、すぐ死ぬ人が多くて
人選困難。
XII 1. 深田久弥：ヒマラヤの高峰に対しての全般的
な啓蒙者
2. 今西錦司：ヒマラヤ登山の初期の扇動者、企
画者
3. 槇有恒：マナスル登頂のあの映画には痺れた。
その隊の隊長に代表させて。
XIII 救助できない：精神論的美談は困ります。でき
る限りの物質的精神的援助をするのは吝かでは
ないが、救助できません。
XIV している している
XV 指定している 焼却している
XVI 載せている 載せている
XVII 理解している
XVIII 気の合った仲間たちと可能な限り高く、より未
知な山域に身を置き、目的にそった一時期を過
ごすこと。
XIX ヒマラヤ登山は一部の選ばれた人たちのもので

はないということ、それを実践の中で示すこと。
安全面も含めて。

XX 最先端は冬期、バリエーションルートの登攀を
果敢に行ない、一方、より多くの登山者がピー
クハントを目指すようになる。しかし、それも
現在実践している者たちの啓蒙次第（特に後半
のものは）。
(さかい くにみつ 57才 妻有子供1人 喫
煙無 飲酒日本酒3～4合 睡眠7時間 車免
許有 昭和山岳会 HAJ 黒部の衆)

松永義夫

I 未知の探求と困難の追求
II ヒマラヤ登山のための同人
III 壁の登攀 巨峰の無酸素登山
IV カラコルム
V1.K₂ 2.ナンガ・パルバット 3.ガウリシャン
カール 4.アマ・ダブラム 5.アンナプルナ・
ダクシン
VI ガウリシャンカール
VII 休暇
VIII トレーニング：特になし、山に登る事。自転車
通勤(17km) 往復
IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由
X 8000メートルの上と下(ヘルマン・プール)
XI 外国人：F・ママーリー 意志のある所道は通じ
る
XII 1. 小西政継
2. 山田・斎藤ペア：冬期マナスルの登頂
XIII 救助しない：疲労困憊している状態なら救助は
不可能と考える(この場合他の仲間は?)。自
分は逆の立場なら相手の身の事も考え、救助を
求めないと思う。
XIV している していない
XV 指定している 焼却していない
XVI 載せている 載せていない
XVII 理解していない
XVIII 少人数による8000m峰の実践(O₂レス)。
XX ①超高所での無酸素での冬期登山 ②公募隊で
のヒマラヤニストの台頭
(まつなが よしお 48才 妻有子供1人 喫
煙無 飲酒1本 睡眠6.5時間 車免許有 静

八木原圀明

- I 未知の探求と困難の追求
II 単一山岳会、同人を問わず、身近な仲間との登山
III 壁の登攀 冬期登山
IV ネパール
V 1.マカルー 2.ダウラギリ I 3.K₂ 4.アマ・ダブラム 5.シヴリン
VI K₂
VII 資金 年令
VIII トレーニング：無回答
その他：人の話を聞いたり話したり
IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 富士山より高い山が無い以上、全く効果が無いとも思えない。精神的にも効果があろう。
X 若き日の山行（ルイ・ラシュナル、ジェラルド・エルゾグ共著）
XI 外国人：クリス・ボニントン 私自身がヒマラヤを志した時からの彼の登山と実績、特にオルガナイザーとしての。
日本人：小西政継 ボニントンと同じ理由
XII 1.今西錦司：パイオニア・ワーク
2.原真：新しいヒマラヤ登山理論の構築
3.小西政継：困難な課題への挑戦
XIII 救助しない：というよりは、実際には出来ないと言った方が正しいと思う。
XIV している している
XV 指定している 焼却している
XVI 載せている 載せている
XVII 理解している
XVIII 困難な山、ルートに登る登山。時代的に難しいが未知が含まればもっと望ましい。
XIX 困難な登山を避けての登頂至上主義に陥っている。困難な超高峰を目指して欲しい。
XX より困難な諸条件の中での登山と「登頂主義」を前面に出しての個人主義的な登山の両極分化。
(やぎはら くにあき 49才 妻有子供1人 喫煙20本 飲酒2本 睡眠8時間 車免許有 群馬ミヤマ山岳会 H A J 山麓会)

山本篤

- I 未知の探求と困難の追求
II 所属する単一山岳会
III 速攻登山
IV カラコルム
V 1.ラカポシ 2.ナンガ・パルバット 3.エヴェレスト 4.マカルー 5.アンナプルナ
VI アンナプルナ
VII 資金 時間 休暇
VIII トレーニング：ここ数年は全くやっていない。
'95マカルーで体力の低下を痛感したので、今後ヒマラヤに行くならば、トレーニングが不可欠であることを自覚している。
IX 賛成である 経験の少ない者にとって低酸素状態を知ることは有意義だと思う。しかしその中でトレーニングを行うことは私自身は抵抗がある。
X 処女峰アンナプルナ（モーリス・エルゾグ）
XI 外国人：ラインホルト・メスナー 8000m峰14座登頂
日本人：山田昇 2度の遠征を共にする機会に恵まれ、精神的に至るまで大いなる薫陶を受けた。
XII 1.山田昇：日本人No.1の実績を残し、晩年は社会に高所登山を認知させるべく努力した。
2.重廣恒夫：20数年にわたり高所登山の変遷を見つめつつ、自らもいろいろなスタイル、ルートで実践している。
3.小西政継：いち早く欧米の思考を日本に持ち込み実践した。
XIII 救助する：人道的にもその状況の中で最大限の努力はすべきだと思うから。
XIV している している
XV 指定している 焼却している
XVI 載せていない 載せている
XVII 仕方がないと思っている
XVIII スタイルや山は問わない。気持ち良く登山ができる人達とのヒマラヤ登山ならば、どのような登山でも良い。
XIX どのような登山をしようとそれは個人の自由であるので、他人に迷惑をかけなければそれで良

と思う。しかし今年もヒマラヤで遭難があった。登山のスタイルや登る為の情報は充分だと思うが、ヒマラヤでの安全確保ということについてあまり浸透していないように思う。今後若い人を中心に遭難回避について熱心な討議が行われ、その意識が高まっていくことを期待する。

XXますます高齢化が進み、多くの人達にとって、7000m、8000mという高度が特別なものではなくなる。そのことによって全体のレベルが上がることを期待する。

(やまもと あつし 33才 独身 喫煙無 飲酒無 睡眠7時間 車免許有 明大山岳部炉辺会 日本山岳会 H A J)

谷川太郎

- I 未知の探求と困難の追求
- II よく知っている仲間と5～8人位のパーティ
- III スタイルにこだわriません
- IV 東部ヒマラヤ ネパール
- VII 資金 家庭
- VIII トレーニング：特になし
- IX 賛成である 特に反対する意見がないだけです
- X K7初登頂(東京大学K7登山隊)
- XI 日本人：早坂敬二郎 私の登山の師匠です
- XII 1.小西政継：著作が有名
 - 2.八木原啓明：多くの実績を通して直接に若手クライマーを育てながら、日本のヒマラヤ登山のレベルを底上げしている。
 - 3.重広恒夫：八木原氏と同じ理由
- XIII 救助する：「死を覚悟して」は救助できないが、ある程度はすると思う。
- XV 指定している 焼却していない
- XVII 載せていない 載せていない
- XVIII 理解していない
- XIX メンバー全員が満足して終了できる登山
- XX 特になし
- XXI わかりません
 - (たにがわ たろう 29才 独身 喫煙無 飲酒小1本 睡眠10時間 車免許有 東京農大山岳会 日本山岳会)

笠原芳樹

- I 楽しさと多少の困難
- II ヒマラヤ登山のための同人
- III 速攻登山
- IV ネパール
- V 1.マカルー 2.K₂ 3.ナンガ・パルバット
 - 4.アマ・ダブラム 5.プモリ
- VI クスム・カングル
- VII 時間
- VIII トレーニング：出発前に富士山数回。日頃から山に良く行っていれば良いと思っている。
- IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由
- X チベットの7年(ハイシリヒ・ハラール)
- XI 外国人：ニコラ・ジャジュール 知的で強いソロ・クライマーだった
 - 日本人：青田浩 初めてのヒマラヤのパートナーだった

- XII 1.今西錦司：マナスル登山
 - 2.原真：理論と各著書
 - 3.坂下直枝：クーンブ合宿など各種登山
- XIII 救助しない：今の自分ではできないでしょう
- XIV している しているつもり
- XV 指定している 焼却している
- XVII 載せていない 載せていない
- XVIII 理解している
- XIX 大きな山も日本の山を登ると同じ様に、スマートで楽しくやりたいというチャレンジ
- XX 登る力のない人がフィックスベタばりで登山しないしてほしい。本人は楽しいのだろうか？
- XXI お金持ちの有名峰ピークハンターとマナーの悪いトレッカーばかり…ということがないように祈りたい。
 - (ささはら よしき 38才 妻有子供3人 喫煙無 飲酒4合 睡眠7時間 車免許無 カモシカ同人)

中岡久

- I 未知の探求
- II ヒマラヤ登山のための同人
- III 速攻登山
- IV カラコルム
- V 1.ナンガ・デヴィ 2.マナスル 3.K₂ 4.サガルマータ 5.ナンガ・パルバット

VI マナスル

VII 休暇 家庭 実力

VIII トレーニング：特にこなっていないが、国内山行をできるだけ多く実施している。

IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 個人の自由であるから

X 処女峰アンナプルナ（モーリス・エルゾグ）

XI 外国人：ラインホルト・メスナー 8000m 峰14 座完登に尽きる。

日本人：山田昇 同行したこともあり、すべてにおいて日本人最強最高のヒマラヤニストである。

XII 小西政継：アルプス時代も含めて、常に時代の先端を切っていた。現在も大衆化への流れの中で楽しい登山をしている。

2. 植村直己：エヴェレスト日本人初登頂者として、その後は、一般社会へも登山の枠を越えて広げた。

XIII 救助しない：8000m 以上では個人の責任で登山するしかない。

XIV している している

XV 指定している 焼却している

XVI 載せている 載せている

XVII 理解していない

XVIII 自分自身で計画し実践する登山、そして楽しい強い仲間との登山。

XIX 特にありませんが、個人個人が責任をもった登山をすればよいと思う。

XX 現在の国内と同様に多種多様化（大衆化）した登山と先鋭的登山に分化。但し後者は少なくなるのではないか。

（なかおか ひさし 47才 妻有子供2人 喫煙30本 飲酒無 睡眠7時間 車免許有 東京白稜会 H A J）

桶川和気夫

I 未知の探求

II 気の合ったもの同志3～4人

III 速攻登山

IV 天山 崑崙

V1. ナンガパルバット 2. アマダブラム 3. カンチェンジュンガ 4. チョー・オユー 5. チョモ

ランマ

VI アルンカンリ

VII 家庭

VIII トレーニング：裏山登り、少林寺拳法、ランニング

その他：資金づくり、休暇づくり

IX 賛成である

X ヒマラヤの高峰（深田久弥）

XI 外国人：メスナー カジュアルでラフな感じが好き

日本人：植村直己 同上

XII 知りません

XIII 救助する：当然だと思う。しかし現場では解らない。

XIV している している

XV 指定している 焼却している

XVI 載せている 載せている

XVII 理解していない

XVIII 生きていて良かったなと感動できるもの。

XIX 一つの形に固定せず、それぞれの思いがいろいろな形で自由に実現できれば良いと思う。

XX 二極化すると思う。ハイテクノロジーやヘリコプターを駆使したピークハント。もう一方はプロセスを充分味わうのんびり登山。

（おけがわ わきお 46才 妻有子供2人 喫煙無 飲酒1本 睡眠8時間 車免許有 H A J 金沢山岳会 石川県山岳協会）

山本宗彦

I 楽しさと健康の維持

II 特にこだわりません

III 二つ以上のピークの縦走

IV カラコルム

V1. マッシュャーブルム 2. ムスターグ・タワー

3. ラカボシ 4. タムセルク 5. マカルー

VI ガッシャーブルム IV～II の縦走

VII 休暇

VIII トレーニング：心肺機能の強化を中心とする

その他：冬期の国内登山を継続させること

IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 効果をあまり期待できない

X 高い山はるかな海（アンダーソン）

XI外国人：ティルマン 登山に対するシンプルな
考え方と行為の継続性

日本人：加藤文太郎 時代に流されずに登った
信念と独自の創造力

XII救助する：ただし自分の体が通常の状態であら
ばということです。

XIIIしている している

XIV指定している 焼却している

XV載せていない 載せている

XVI理解している

XVII創造性にとんだ想像力豊かなもの

XVIIIヒマラヤへ行く前に国内の冬期登山をしっかり
やる事が先ではないかと思えます。

XIX先端と一般の二極分解が益々激しくなる一方で、
益々創造性はなくなってゆくのではないかと思
います。

(やまもと むねひこ 36才 妻有子供2人
喫煙無 飲酒0.3本 睡眠6～7時間 車免許
無 明治大学山岳部炉辺会 サンナビキ同人
日本山岳会)

松田靖彦

I 未知の探求と困難の追求

II ヒマラヤ登山のための同人

III 速攻登山

IV カラコルム

V1.エヴェレスト 2.マカルー 3.ガッシャーブ
ルム I 4.K2 5.ダウラギリ

VI マカルー

VII 資金 組織 家庭

VIII トレーニング：毎日ランニング・休日登山

IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 ドー
ピングみたいでいや

X 青春を山にかけて(植村直己)

XI 外国人：メスナー 無酸素、アルパインスタイ
ルでヒマラヤ登山を変えた。

日本人：山田 昇

XII 小西政継：山学同志会のリーダーだから

XIII 救助しない：死を覚悟してまでの救助はできな
い、生きて帰りたいから

XIV している していない

XV 指定している 焼却していない

XVI 載せていない

XVII 理解していない

XVIII 気の合った仲間と好きな山に楽しく登る

XIX 公募隊がふえる

(まつだ やすひこ 37才 妻有子供1人 喫
煙無 飲酒3本 睡眠6時間 車免許有 福井
山岳会 HAJ 日本山岳会)

清水修

I 未知の探求と困難の追求

II ヒマラヤ登山のための同人

III 速攻登山(アルパイン・スタイル)

IV インド カラコルム

V1.ナンガ・パルバット 2.シスパーレ 3.ラカ
ポシ 4.マカルー 5.ナンダ・デヴィ

VI ナンガ・パルバット(ルパール壁)

VII 資金 家庭

VIII トレーニング：ランニング程度

IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 個人
の自由

X ヒマラヤアルパインスタイル(アンディファン
ショウ)

XI 外国人：ナジール・サビール パートナーで有、
多くのクライマーと親交が有、パキスタンで
お世話になっている。

日本人：国井治 ヒマラヤ登山において最初に
チャンスくれた人。

XII 1.今西寿雄：マナスル初登頂者、マナスル成功
後、登山ブームになったとか？

2.植村直己：エヴェレスト日本人初登頂。冒険
家であった彼が世間にあたえたものは大きいは
ず。

3.小西政継：8,500m以上の山での無酸素登山
の実践者

XIII 救助する：状況しだいだと思う。但し死を覚悟
までは出来ない。自分自身も疲労困憊している
状況では救助どころではないはず…。

XIV している している

XV 指定している 焼却している

XVI 載せていない

XVII 理解している

XVIII 誰にもじゃまされず、自分たちだけしかいない

フィールド、形態のところでも書いたが、休日の範囲で終わられ、アプローチが比較的近いところ。

XIXどんな登り方をしてもけっこう。しかしきれいに登ってほしい、人気の山のBCはひどいゴミ、その中に日本語が書いてあるゴミを見るとかない。

XX未踏峰がなくなり魅力半減、登る人も半減。
8000メートル峰のノーマルルートに集中し、トレッカーが増えるであろう。
(しみず おさむ 38才 妻有子供2人 喫煙有10本 飲酒有 睡眠時間 車免許有 バーバリアンクラブ)

山中芳樹

- I 未知の探求
- II ヒマラヤ登山のための同人
- III オーソドックスな方法によるピークハント
- IV インド
- V1. ナンダ・デヴィ
- VII 休暇
- VIII トレーニング：特になし
- IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 低圧実験室が絶対的に効果的であることがまだ確立されていないと思うので
- X ヒマラヤ登攀史（深田久弥）
- XII ラインホルト・メスナー：短期速攻登山への考え方と実践。彼のガッシャーブルムI峰登山への影響は大きかったと思う。
- XIII 救助しない：二重遭難にならない範囲内で救助しようとするが、自分の死を覚悟してまではできない。上記のような山に登る登山隊は基本的には自分のことは自分で責任をもつべきだ。
- XIV している している
- XV 指定している 焼却していない
- XVI 載せていない 載せていない
- XVII 理解している
- XVIII 未知の山域に魅力ある登山のできる山を見出すこと。よく知られた山域でもそれまで知らなかった魅力を発見すること。よい仲間を作り、その仲間と楽しい登山ができること。
(やまなか よしき 46才 妻有子供無 喫煙

無 飲酒1本 睡眠7時間 自動車免許有 松戸山の会 日本勤労者山岳連盟 HAJ)

保坂昭憲

- I 未知の探求
- II 国内広域チーム
- III オーソドックスな方法によるピークハント
- IV 東部ヒマラヤ（アルナチャール）
- V1. カンチェンジュンガ 2. カンジロバ 3. ランタン 4. クーラ・カンリ 5. 梅里雪山
- VI 雲南の山々、東部ヒマラヤ
- VII 休暇
- VIII トレーニング：休日にはアウトドア活動をしている。
- IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 時間的に制約のあるなかでの登山には可能性のある効果は追求するのも……
- X チベット（河口慧海）
- XI 外国人：モーリス：エルゾグ 8000m初成功の心の葛藤
日本人：稲田定重 影の人で頑張っているから
- XII1. 今西錦司：方法論と山の楽しみ方を教えてくれた
2. 山森欣一：ヒマラヤ事故防止の広報活動
3. 深田久弥：ヒマラヤの高峰の監修
- XIII 両方の場合が考えられる
- XIV している している
- XV 指定している 焼却していない
- XVI 今後は載せる 今後は載せる
- XVII 理解している
- XVIII 自然体で入山・活動・登頂・下山・調和と協調性の遠征隊。未知の世界で
- XIX 外国旅行者がこれ程多いのに、若いヒマラヤニストが少ない。若い山岳愛好者に組織登山の楽しさを体感してもらいたい。
- XX 多様化により、キャンプタイプとなり、受け入れ国は外貨獲得のため、より入山しやすくなる。未組織受け入れのところと組織登山でなければ入れない地域に分かれる。アマチュアとエキスパートの選択がなされる。
(ほさか あきのり 48才 妻有子供3人 喫煙無 飲酒1本 睡眠7時間 車免許有 こま

くさ山岳会 H A J 社会保険センター登山学校 (教室)

一宮繁紀

- I 未知の探求と困難の追求
II ヒマラヤ登山のための同人
III 壁の登攀
IV ネパール
V1. エヴェレスト 2. アンナプルナ 3. K2
4. ナムチャ・バルワ 5. ジャヌー
VI アンナプルナ
VII 休暇
VIII トレーニング: ジョギング、ランニング登山、ボッカ訓練、岩登り
IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 私自身効果があったとは思われなかった。
X 処女峰アンナプルナ (モーリス・エルゾーグ)
XI 外国人: ダグスコット 考え方、やり方が好きである
日本人: 原真 考え方に同調できる
XII 1. 小西政継: 社会人山岳会による先鋭的登山
2. 田部井淳子: 女性による高所登山
3. 加藤保男: 少数精鋭による高所登山
XIII 救助しない: 両方とも死に至る
XIV している している
XV 指定している 焼却していない
XVI 載せていない 載せていない
XVII 理解している
XVIII 費用が安く、自分にとって登頂のチャンスも多く、より高度が高い方がよい。
XIX 名の売れた、一般受けする山ばかりに目を向けず、もっと中国の山とかそれもバリエーションルートからの頂上、そんな登山をやってほしい。
XX 観光登山は益々盛んになり、本格的登山も先鋭的登山も衰退すると考えます。なぜなら、受け継ぐべき世代が日本の国内の冬山で着実に育っているとは思わないから。
(いちみや しげとし 56才 妻有子供1人 喫煙無 飲酒2本 睡眠7.5時間 車免許有 宮崎登攀倶楽部 宮崎県山岳連盟 H A J)

樋上嘉秀

- I 困難の追求
II ヒマラヤ登山のための同人
III オーソドックスな方法によるピークハント
IV ネパール
V1. ナンダ・デヴィ 2. チョモランマ
VI ナンダ・デヴィ
VII 組織 手続き
VIII 毎週の山行
IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由
XIV している している
XV 指定している 焼却している
XVI 載せている 載せている
XVII 理解している
(ひがみ よしひで 52才 妻有子供3人 喫煙有20本 飲酒有 車免許有 大阪わらじの会)

尾形好雄

- I 未知の探求と困難の追求
II 所属する単一山岳会
III 速攻登山
IV 東部ヒマラヤ
V1. ヒマルチュリ 2. リモI峰 3. マモストーン・カンリ 4. ナムチャ・バルワ 5. マッシュャブルム
VI ガンケル・プンスム
VII 休暇
VIII トレーニング: ここ1年は特になし
IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 登山のデザインは自分がするものであるから、他人の山登りに干渉しない
X ブロード・ピーク (マルクス、シュムック)
XI 外国人: ラインホルト・メスナー 彼のトレーニング方法
日本人: 野村哲也 窮乏登山隊のすすめ
XII 1. 深田久弥: ヒマラヤの高峰をはじめとして書物の世界で日本の登山者に視野を広げてくれた。50万EXPの実践もライト・EXPのはしりとなった。
2. 小西政継: カンチ、K2、エヴェレストの無酸素登山の企画、実践。
3. 原真: 高所登山のルネサンス。アルパイン・スタイルのすすめと実践。組織登山への抵抗。

- XIIIこの設問では何とも云えない
- XIVしている している
- XV指定している 焼却している
- XVI載せている 載せている
- XVII理解している
- XVIII立案から実践。自分の描いたルートを自分で登る。これを貫徹出来るような登山。
- XIX若い人達が、8,000峰のピーク・ハンティングに目をうばわれることなく、若い時にしか出来ない登山を楽しむ指向が益々増加すると思う。
(おがた よしお 48才 妻有子供3人 喫煙無 飲酒2本 睡眠5.5時間 車免許有 雪と岩の会 H A J 山麓会)

本郷三好

- I 未知の探求
- II 所属する単一山岳会
- III オースドックスな方法によるピークハント
- IV ネパール
- V1.エヴェレスト 2.マナスル 3.チョゴリザ
- VI マナスル
- VII 休暇
- VIII トレーニング：週末にプールに行く程度です
- IX 賛成である 事前に低圧を経験する事は安全率が高まると思っています。
- X 植村直己さん関係の本
- XI 外国人：ロブ・ホール エヴェレストでのガイドとしてプロ意識をみた。
日本人：湯浅道男 細心でかつ大胆なところ
- XII1.湯浅道男：1970年代（大学山岳部主流の時代）に街のアンチャン達をエヴェレストに行かせたこと
2.森田勝：ヒマラヤ登山という行為に対し、下むきに生きる様を教えてくれたこと
- XIII 救助しないが、どの程度手を差しのべなければならぬのかを考えてから。考えても実際私の力では無理かもしれない。
- XIV している している
- XV 指定している 焼却している
- XVI 載せている 載せている
- XVII 理解している
- XVIII 全員がリーダーとしての判断力をもっている隊

- 員でチームを組んだ登山
- XIX サミットだけを考えるのではなく、地元民の生活にもっと配慮をしてほしい
- XX 公募登山が普及し、公募登山とライトEXPの共存
(ほんごう みつよし 45才 妻有子供2人 喫煙無 飲酒無 睡眠8時間 車免許有 愛知学院大学山岳会 R C C II 岳龍会)

星野龍史

- I 楽しさと健康の維持（個人の能力開発）
- II 所属する単一山岳会 ヒマラヤ登山の同人
- III 縦走 速攻登山 巨峰の無酸素登山
- IV カラコルム
- V1.サガルマータ 2.アマダブラム 3.ラカボシ
4.シニオルチュー 5.マチャブチャレ
- VI K 2
- VII 手続き 語学不足
- VIII トレーニング：ランニング、クロスカントリー、自転車、山田杯参加
その他：毎月1回の海外登山研究会
- IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 自分は使ったことがない。いくらかは参考になるのではないかと思う。
- X 処女峰アンナプルナ（モーリス・エルゾーグ）
- XI 外国人：ラインホルト・メスナー 感性であれだけダイナミックな登山ができたこと
日本人：尾形好雄 影響というより、ヒマラヤ登山の1～10を教えてくれた人
- XII1.楨有恒：高峰登山の幕明け
2.小西政継：「より困難」というテーマをつくりあげたから
3.山野井泰史：戦後というよりまさに今の登山会に“衝撃”を与えている人
- XIII 救助する：何らかの方法が残されていないかベストをつくす
- XIV している している
- XV 指定している 焼却している
- XVI 載せている 載せている
- XVII 充分とは言えないが理解してくれている
- XVIII ダイナミックな登山活動と異国でのいろいろな発見

XX現地の人、自然社会を本当に思っていること
XXイージールートの大衆化と、元気のある若手
(30才前後) 何人かのクライマーによるアルパ
イン、単独、フリー化等、記録がつくられて行
くと思う。

(ほしの りゅうし 28才 独身 喫煙無 飲
酒1本 睡眠6.5時間 車免許有 群馬ミヤマ
山岳会 群馬岳連海登研 H A J)

八嶋寛

- I ヒマラヤ地域の文化全般に興味があります
- II ヒマラヤ登山のための同人
- III 目的の山に応じた登山
- IV チベット
- V 順序をつけがたいので記入しませんでした。
- VI ルンポ・カンリ
- VII 資金
- VIII トレーニング：時々の山行
その他：研究会などの開催、参加
- IX 賛成である 出来る限りの準備をした方が良い
- X 高い山はるかな海 (J.R.L. アンダーソン)
- XI 外国人：ティルマン 生涯を山と海に遊んだ行
為
- XII 1. 横有恒：マナスル登山とそれまでの活動
2. 植村直己：エヴェレストの登頂
3. 山田昇：多くの登山と登頂
- XIII 救助する：出来る限りのことはするが、現実に
直面してみないとわからない
- XIV していない していない
- XV 指定している 焼却していない
- XVI 載せている 載せている
- XVII 理解しているとは言えないが協力してくれる。
- XVIII 気のあった友人と、余裕の有る期間で登山出来
ること
- XIX 特に無し
- XX より安全になると思いますが、登山人口は増え
るので事故は減らないと思う。国境地帯がはず
れ自由になることを望んでいます。
(やしま ひろし 46才 妻無子供1人 喫煙
無 飲酒2本 睡眠7時間 車免許有 東北海
外登山研究会 仙台山岳会)

伊藤清春

- I 未知の探求と困難の追求
- II 国内広域チーム
- III 壁の登攀 速攻登山 巨峰の無酸素登山
- IV カラコルム 横断山脈
- V 1. K 2 2. ナンガ・バルバット 3. アンナプル
ナ I 4. カンチェンジュンガ 5. ミニヤ・コン
カ
- VI ナンガ・バルバット
- VII 資金 休暇 組織 家庭
- VIII トレーニング：週4日以上でのランニング (15K)
筋力トレーニング
その他：ロードレース、駅伝大会などの積極的
参加
- IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 低圧
室に入っても、現地での高所順応をしないと不
安である。
- X 白きたおやかな峰 (北杜夫)
- XI 外国人：ラインホルトメスナー アルパイン・
スタイルの登山
日本人：小西政継 文章のうまさ、どんなにす
ごい登山をしても文章に残さなければ彼の登
山観を知る術はない。
- XII 1. 横有恒：登山ブームを引きおこした
2. 小西政継：ヒマラヤにバリエーションを持ち
込んだ
3. モーリス・エルゾグ：世界初の8000m峰の
登頂とその著者
- XIII 救助しない：自分自身の疲労の度合によるが本
能的に死を回避するだろう。自分が死んでは意
味がない。
- XIV している している
- XV 指定している 焼却していない
- XVI 載せている
- XVII 理解していない
- XVIII 互いに卑下する事のない実力を認め合える仲間
と、課題をもって未知なるものへの挑戦をする
登山
- XIX かって「日本の冬山を充分経験して…」と云わ
れたものだが、やはりヒマラヤは日本の冬山の
集大成と位置づけたい。実力のないものは余分

な物を持ち込む

XX中高齢の登山熱が冷めて本当の山好きだけの登山になる

(いとう きよはる 45才 独身 喫煙無 飲酒1本 睡眠6時間 車免許有 秋田県山岳連盟 秋田海登研 H A J)

須藤建志

I 未知の探求と困難の追求

II ヒマラヤ登山のための同人

III 可能な限りアルパイン・スタイルに近い形で壁にはとられないが自分の見方で、美しいライン、魅力のあるルート、困難性も含めて

IV カラコルム 横断山脈

V1. ミニヤ・コンカ 2. K 2 3. ギャチュン・カン 4. カンジュトサル 5. ラカポシ

VI とりあえず次はミニヤ・コンカ南西稜

VII 自営のため仕事の段取り

VIII トレーニング：フリークライミング、アルパイン・クライミング、年40～50回以上、週3日プール2km、アスレチックたまにランニング
その他：資料集め、仲間と酒を飲みながらヒマラヤの話しヒマラヤ関係の読書

IX 自分は受けないが他人が受けるの自由 高度順応も高所登山の一つの高所登山の技術であり登山期間中に自然の中で得るべき、鉄の箱の中で苦しんでもおもしろくない。富士山で代用出来る。

XI 外国人：クリス・ボニントン エヴェレスト南壁以後の登山内容、ヒマラヤ登山を真に楽しんでる。

日本人：原真 時代の先取りのアジテーターとしての存在（良くも悪くも）

XII 1. 今西錦司：戦後のヒマラヤのほとんどが未踏峰の時代の価値観を作ってきた、今だにその思想で山行もせずトレーニングもせずで時代劇的遠征登山を行う組織もある

2. 原真：まさしく日本のヒマラヤ登山のルネッサンス、組織から個人へ

3. 斎藤惇生、中島道郎：本人には責任はないが実年者の高峰登山のブームを作り、マスコミによって〇〇才の8千米峰登頂などというバカげ

た価値観が作られた。この価値観がはびこると若い人にとって益々ヒマラヤ登山の魅力が無くなってしまう。

XIII 救助する：パートナーの場合、運命協同体であり、死の危険を承知でもやる。

救助しない：他人の場合、甘ったれるな、自分で責任を持て→下山後受ける非難は受けてたつ。

XIV している している

XV 指定している 焼却している

XVI 1度だけ載せた 1度だけ載せた

XVII 理解している

XVIII 自分にとっての未知の探求、物質的不自由さの中にある精神の自由。日常的にトレーニングを行い、自己の持てる技術、判断力、精神力を最大に引き出せる内容なら対象は選ばない。

XIX 8千米ノーマルルートへの集中やビッグウォールはトランゴタワーばっかしという思考力の停止や知的好奇心の欠如にうんざり。人のやることは勝手、別に注文はなし。

XX 大衆化とより困難への追求の二極化。でもそんなことわからない…。私は登れなくなったらやめるし、その後は山のことは考えない。無責任な口だけ登山もしない。次の世代の人が好きにやればよい。

(すどう たてし 47才 妻有子供1人 喫煙20本 飲酒1～2合以上 睡眠6時間 車免許有 京都岳人クラブ 日本山岳会)

西嶋鍊太郎

I 未知の探求と困難の追求

II 所属する単一山岳会

III オートドックスな方法によるピークハント

IV カラコルム

V1. K 2 2. ガッシャーブルム I 3. ニルギリ 4. バギラティ I 5. シャラリ

VI ガッシャーブルム I

VII 休暇

VIII トレーニング：ランニング等

その他：年に一度は4000mを越える。意識をヒマラヤから離れないようにする。

IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 自信 過剰は禁物。しかし、己を知る一助になり精神

的支えにもなると思うから。

X 八〇〇〇mの上と下(ヘルマン・ブール)

XI 外国人: ヘルマン・ブール その著書が私のヒマラヤへの心をつくった

日本人: 小川信之 その人となり、その業績、その死

XII 1. 深田久弥: 庶民にもヒマラヤを普及させ、底辺を広げた

2. 諏訪多栄蔵: ヒマラヤを総合的に考え、登ることを教えてくれた

3. 宮森常雄: ミヤモリマップなくして遠征計画なし

XIII 理性が残っていれば救助しない

XIV している している

XV 指定している 焼却していない

XVI 載せている 載せている

XVII 理解している

XVIII 八〇〇〇mを越えること、高さこそ登山とりわけヒマラヤ登山の本質である。

XIX H A Jなどを中心に山岳関係団体、ツアー会社などで協力組織をつくること。環境キャンペーン、環境グリーン開発、遭対、保険、休暇、治安問題等々課題は多い。

XX 高令者は去り辺境の治安も悪化、3 K嫌って若者も少なく、21世紀初頭は一時的に沈滞、その後ヒマラヤ各国は山小屋などを整備、登山客の呼び込みにつとめ、徐々に登山家も増加に転ずる

(にしじま れんたろう 54才 妻有子供2人 喫煙無 飲酒2本 睡眠6時間 車免許有)

高橋堅

I 自己実現のおもしろさ、大自然の中の心のやすらぎ

II 登頂の意志が強く、山を楽しめる人の集まりであれば所属等はどうでもよい

III 速攻登山

IV カラコルム

VII 時間 休暇 一緒に行くメンバー集め

VIII トレーニング: ジョギング、水泳、自転車たまにフリークライミング

IX 必要な場合はやればよい。自分も必要だと思っ

た時にはやるだろう。

X 処女峰アンナプルナ(モーリス・エルゾーグ)

XII 1. 小西政継: ほとんどの日本の山やにとって遠い存在だったヒマラヤバリエーション登攀を意識の上でごく当たり前にしたオピニオン・リーダー。

2. 山野井泰史: 日本人初の本格的単独登攀者。

XIII 救助して自分も生き残れると判断すれば救助する。また、同じパーティのメンバーでまだ生きていれば、相当きびしい状況でも救助すると思う。他のパーティの人で自分が生き残れそうになければ救助しない。

XIV 指定している 焼却していない

XV 載せていない 載せていない

XVI どちらとも言えない

XVII 未踏、既踏にかかわらず、おもしろいルートを少人数で登る。もちろん自分がトップで登れるところ。

XVIII 登山は個人の遊びであるので、迷惑をかけない限り他人の登山にイチャモンをつけないようにしたい。

XIX 個人の集まりによる少人数のアルパイン・スタイルが増える一方、中高年を中心とした大金をかけ、シェルパを大勢使い、ガイド的な人に率いられたグループツアー的なネパール・ヒマラヤ登山も増えると思う。

(たかはし けん 38才 独身 喫煙無 飲酒缶ビール1本 睡眠6.5時間 車免許有 弘前大学山の会 カトマンズクラブ)

安藤昌之

I 未知の探求と困難の追求

II ヒマラヤ登山のための同人

III 二つ以上のピークの縦走

IV カラコルム

V 1. ナンガ・パルパット 2. ラカポシ 3. テレイサガル 4. ティリッチミール 5. K₂

VI エヴェレスト

VII 休暇

VIII トレーニング: 1週間に2回の7kmのマラソン年に数回マラソン大会参加

IX 自分は受けないが他人が受けるのは自由 時間

の節約と安全登山に有効、時間があれば受けたい

X 処女峰アンナプルナ (モーリス・エルゾーグ)

XI 外国人: ニコラ・ジャジュール 酸素ボンベを使用してのエヴェレストをたいくつな健康増進の為の散歩ときめた事

日本人: 小西政継 小西さんなくして日本のヒマラヤ登山はない

XII 1. 小西政継: 何といっても小西さんです。

2. ラインホルト・メスナー: 8000m アルパイン・スタイル、無酸素登山と多くのアイデアを登山界に提出した。

3. 原真: 高所登山の理論的裏付けについての研究

XIII 救助しない: 自分が生きる可能性が無い場合、2人共死ぬ事になるので。

XIV していない していない

XV 指定している 焼却していない

XVI 載せていない 載せていない

XVII 理解している

XVIII 命の危険を感じつつも情熱の為にむかざるを得ない様な個人だけの世界

XIX 難しい壁、アルパイン・スタイル、単独登山などすばらしい成果に圧倒されます。

XX 単に高いだけの山への公募登山と8000mの壁、単独、縦走の二極に分かれます。

(あんどう まさゆき 40才 妻有子供3人 喫煙無 飲酒3合 睡眠7時間 車免許無 化研クライマーズクラブ カトマンズクラブ 弘前大学医学部山岳部OB)

沢田幸子

I 楽しさと健康の維持

II ヒマラヤ登山のための同人

III オーソドックスな方法によるピークハント

IV 天山

VII 家庭

VIII トレーニング: 可能なかぎり山へ行く

その他: 水泳週1~2回

IX 賛成である

X 処女峰アンナプルナ (モーリス・エルゾーグ)

XIII 救助しない 共倒れとなる。力不足だから

XIV している している

XV 指定している 焼却している

XVI 載せている 載せている

XVII 理解している (半分はあきらめ)

XVIII 成功や敗退にかかわらず、後味のよい登山。人間関係を大切にしたい

XIX これからも増えていくと思われるので、現地の最新の情報を伝えてもらいたい

XX アルピニズムの追求と楽しみのために分かれると思う

(さわだ さちこ 55才 夫有子供3人 喫煙無 飲酒無 睡眠7時間 車免許有 わらじの仲間 H A J)

松林公蔵

I 未知 (学術の意味も含む) の探求と楽しさ

II 所属する単一山岳会

III 学術探検をそなえた登山あるいはトレッキング

IV 東部ヒマラヤ 横断山脈

V 1. ナムナニ 2. シンジャパンマ 3. 梅里雪山

4. ガンケル・ブンスム

VI 梅里雪山

VII 休暇

VIII トレーニング: ランニング、筋力トレ

その他: 低山歩き

IX ケースバイケース 真の効果については未知の部分が多い

XII 1. 今西錦司 バイオニア精神

2. 西堀栄三郎 探検に対する情熱

3. 横有恒: アルピニズムの紹介

XIII 救助したいと思うが、その時にならないとわからない

XIV している している

XV 指定している 焼却していない

XVI 載せていない 載せていない

XVII 一部の理解と一部の諦観

XVIII 未知なるものを探求しつつ、しかも楽しい登山

XX とくになし

XXI 高齢化、一般化、レジャー化、環境保護化

(まつばやし こうぞう 46才 妻有子供1人 喫煙10本 飲酒有 睡眠6時間 車免許有 A A C K 日本山岳会)

地域ニュース

《中国》

ムスターグ・アタ登頂相づく

既報のとおりH A Jのサマー・キャンプ隊は、8月13日と17日に5名が登頂した。

同時期入山した大阪労山隊（林幸治隊長ら9名）は、西稜通常ルートから8月17日隊長と服部功（53）、岩山春夫（47）、伊東敏紀（40）、新井栄一（40）、鈴木裕之（45）各隊員が登頂に成功した。

同じく西稜ルートに入山した岐阜隊（隊長：渡辺勉（49）ら5名）も12日と13日3名が登頂した。

東面新ルートから登頂を目指していた浪登山隊（中川裕隊長ら3名）は、下部の状態が悪くこのルートを断念。西面通常ルートに転進し、9月11日にB Cを出発、5,725m、5,990m、6,470mと泊り、14日隊長と岩崎洋、鈴木正典両隊員の3名全員がアルパイン・スタイルでの登頂に成功した。

チョモラーリに登頂

長野県山岳協会と中国登山協会の合同登山隊が、南西稜からチョモラーリ（7,326m）に登頂した。

一次隊は9月8日12時55分に、二次隊は10日10時18分に、それぞれ頂上に立った。以下は登頂者。

一次：山田誠（39） 平塚章（45） 松谷拓也（24）
報道：米山悟 高橋克昌 鮎沢政文 中国側：羅申 開村 丹真多吉 二次：宮本義参（52 隊長）
加藤幸彦（63） 洞井孝雄（46） 田中伸作（36） 三尾敦（32） 報道：東野良 齊藤文彦 中国側：加措 桂桑 吉吉（25 女性）

《インド》

ストックカンリに登頂

鳥取県山岳協会隊（山本悟隊長ら8名）は、8月4日8名全員がストック・カンリ（6,153m）の登頂に成功した。同隊は出発前に鳥取大学附属病院で7～8回低圧訓練を実施していた。尚、全員が初めての高所登山であった。

栃木隊ヌン登頂断念

栃木県南山岳協議会がヌン（7,135m）に派遣した登山隊（梅山義弘隊長ら9名）は、北西稜に入り、約7,000mまで到達したものの、悪天候のため8月20日登頂を断念して下山した。

聖地巡礼の102人死ぬ

インド北西部ジャム&カシミールのヒンズー教の聖地であるアマルナート洞くつの巡礼に向かっていた巡礼者が激しい雨と雪に襲われ、8月27日までに少なくとも102人が死亡した。巡礼者は、増水した河川に巻き込まれたり、気温の急激な低下による寒さにさらされたりして犠牲となった。

《パキスタン》

K 2に大量登頂

J A C青年部がK 2に派遣した登山隊（山本篤隊長ら19名）は、8月12日林原尚之（31）、谷川太郎（29）、赤坂謙三（28）、村田文祥（26）、吉田裕一（26）、椎名厚史（26）の6名が先ず登頂に成功。続いて14日にも山本隊長（33）、稲葉英樹（32）、長久保浩司（27）、竹内洋岳（25）、佐野崇（23）、高橋和弘（22）の6名も登頂した。

尚、竹内隊員は春のチョモランマにも登っており、世界一・二の高峰の連続登頂（年間）は、山田昇（1985年）に次ぐ記録となった。

京都隊G Iに登頂

京都クライマーズ・クラブがG Iに派遣した登山隊（林雅樹隊長ら3名）は、7月30日、林隊長（32）と川奈部隆之（27）、唐橋芳和（25）の3名全員が登頂に成功した。

《旧ソ連》

コルジェネフスカヤに登頂

芳山の高所登山学校として実施されたコルジェネフスカヤ登山隊（近藤和美隊長（54）ら12名）は、8月14日全員登頂に成功した。近藤隊長の報

告によると10年振りに訪れた同峰は、以前にくらべて氷河が痩せており、昔は固定ロープも不要で容易だった雪壁もルートがとれなくなったと云う。登頂者は隊長と、宮崎孝(39)、永田幸一(38)、石野俊子(33)、瀬川安彦(36)、大神田伊曾美(52)、正木直子(39)、小山素子(36)、堀内一昭(39)、藤川勝人(30)、高橋尚子(31)、山中八千代(47)。

尚、8月9日には、YCCの坂本正治(36)がロシア人ガイドと登頂に成功した。

また、同峰終了後、近藤、永田、藤川の3名はコムニズム(7,495m)に向かったが、パミール・プラトーで日数不足のため登頂を断念し、キーロフ東峰(約6,200m)に登頂して下山した。

モンゴル女性レーニン登頂

新華社のウランバートルからの報道によれば、モンゴルの女性登山家であるナリンドが、パミールの名峰レーニン(7,134m)の登頂に成功し、同国女性の登頂高度記録を更新した。

トピックス

原田達也氏「山のスケッチ展」開く

カラコルム通で知られる登山家原田達也氏が、山旅の折々に描いたスケッチの数々を公開する「山のスケッチ展」を9月19日～24日に、大和市つきみ野文化会館で開いた。

期間中には台風の襲来などのハプニングもあったが、山の知人・友人をはじめ地元の同好者など多数が駆けつけお祝いし鑑賞した。

なお、展示された40数点の作品については、販売する意向とのことなので、興味のある方は氏に直接問い合わせされたい。

第10回東北地区海登研

新潟県を含む東北地区が持ち回りで開催している「海外登山研究会」も今年は10回目を迎えたが、初めて青森県で開催されることになった。

記

期日：11月23日(土)～24日(日)

場所：青森県八戸市の八戸ハイッ

費用：一泊二食付 12,000円

内容：東北地区登山隊報告、H A J 山森欣一専務
理事講演他

申込み：阿保障司 ☎ 0178-52-6538(20時～22時)

第16回ヒンドゥークシュ、カラコルム研究会

第16回を迎え下記のとおり開催される。

記

期日：10月26日(土)～27日(日)

場所：八王子大学セミナーハウス

費用：一泊二食付 13,500円(懇親会費含む)

内容：K2単独登頂、ウルタルII初登頂、ヒスパー
氷河の山をどう登るか、などを予定。

申込み：広島三朗 ☎ 0466-45-6801

Books

NUMBUR EXP.'90

奥多摩山岳会が、1990年秋にヌンブール(6,957m)に派遣した登山隊(福島功夫隊長ら8名)の報告書。報告そのものはシンプルにまとめられている。報告書の約4分の一に相当する10頁が、2回にわたる座談会報告で占められている。帰国直後と帰国から2年後の2回行われたもので、内容は率直なもので普通の社会人山岳会が直面している実情が伝わってくる。このようなことが可能なのは、登山を企画した隊長が、企画当初から全体的なデザインを描いて実践した結果なのであろう。

登山終了後5年半たっても、たとえ薄くても内容の濃い報告書を上梓することができるのは、高峰登山を基本的に理解していることの表れであると思う。拍手を贈りたい。

B5版 44頁

〒 東京都小金井市東町1-14-3

福島功夫方

乾いた山と中国の朋友

1994年中国、天山山脈のカシカール峰に初登頂した登山隊の個人的な記録。ベース・キャンプに入ってすぐに高山病になった隊員と同じ隊員であ

りながら妻であったために、なしくず的に夫である隊員の看病にあけくれ、共に下山せざるを得なくなった妻から見た隊長の指揮や、隊員たちへの不満が語られている。

書こうとしていることはよくわかるのであるが、文章が読みづらく、時々夫の側からみたと思えないような表現などもあって、本人が一人で書いたようになってるのが不思議でもある。

しかし、著者の主張することが真実だとすれば、この登山隊は出発以前から現場における危機管理について隊の中でほとんど話し合われていなかったようである。また、他隊の救援がありながら、至近距離にいる同じ隊のメンバーが登山を中断しないことなど通常では考えられないことであり、この点から隊をリードしたメンバーの力量が問われるようだ。死亡者は出なかったものの、準遭難として考えさせられるケースである。

B 5 版 289頁

〒761 高松市香西本町90-1 ファミージュ愛染
101 宮武 よし子

シッキムヒマラヤ学術登山報告

1995年春にシッキムのシニオルチュー (6,887 m) に登頂した東北大学長峻山の会の報告書。

新規オープンする山域に入る時、予測出来ないことが次から次へと起きるものである。それらを解決することは山登り以上に困難であることが多い。同隊は、機会を逃さずふりかかる困難を克服して登頂に成功した。それらは多分E X Pを推進した中核となった人々の信念に支えられた賜物なのであろう。

各係りの報告もコンパクトにまとめられているが、新規オープンの山だけに環境の報告がないのが惜まれる。

B 5 版 148頁 カラー18頁

〒982 仙台市若林町河原町1-4-22
太田尚志 ☎ 022-222-5518

ダウラギリ I 峰

1993年秋にベルニナ山岳会がダウラギリ I 峰に送った登山隊の報告書。行動記録を中心にまとめ

られているが、今村隊長の感想文が短いながらも様々な角度から含蓄ある一文となっている。

B 5 版 52頁

〒232 横浜市南区大岡1-3-2-A-405古関正雄

東海山岳No.7 1996

日本山岳会東海支部刊。クラウン、メントーサ、エヴェレスト、ストック・カンリ、アンナプルナIVなど支部が派遣した登山隊の記録に支部員が個人的に参加したヒマラヤの記録が報告されている。また、研究として「実年高所登山者の体力測定」と題して、鈴木常夫氏がヤン、ガングスタン、メントーサ、ストック・カンリの経験をもとに実例を紹介している。その他読みごたえのある研究がスラリと並び、支部員による国内山行記録が百頁も載っている。

A 5 版 405頁 カラー8頁 3200円

〒460名古屋市中区富士見町8番8号OMCビル

とどけ 遥かなる峰へ

94年H A J 隊でミニヤ・コンカにて消息を断った工藤潤二隊員の遺稿と追悼集。東海山岳会編。遺稿は高校山岳部時代や労山の高所登山学校を中心にまとめられている。追悼文も同級生や釧路、東海で在籍した労山の関係者から寄せられたものを収録。

追悼文としてヒマラヤの現役である田辺治氏が、当時H A J に対して一部から批判されたことについての個人的見解を寄せている。

B 5 版 65頁 カラー4頁

〒464 名古屋市千種区春岡2-15-10
東海山岳会内

ヒマラヤから

ガンゴトリ便り

ナマステ!

資料提供ありがとうございました。おかげ様で私達帯広わらじの会のインドヒマラヤ登山隊96の先発隊3人(片桐、鳴海、堀切)は、デリーまでくることができました。私たちの到着する1日か

2日前に雨期があけたばかりとのことで、非常にむし暑く、北海道のすずしさに慣れきった3人は苦勞しています。

目指すガンゴトリI峰は、まだまだ遠くにありますが、がんばりたいと思います。

8月28日デリーにて OWIHE96 堀切

ラトナ・チュリ便り

9月1日全員カトマンドゥに集結し、6日キャラバン出発となりました。今年はモンスーンの雨が多く、道路崩壊により、2年前より2日キャラバンが長くなりました。全員元気に無事故で初登頂を頑張っております。

9月4日 信大ラトナ・チュリ 田辺 治

チョー・アウイ便り

連日の雨天でフライトが出来ず、チャーターヘリで出かけた山野井君達もルクラで足止めを喰っているようです。観光省では、'98VISIT NEPALで観光の年にしようということで、申請があれ

ばオープンすると云ってましたが…。チャンスである事はまちがいないようです。

9月4日運があればジャンボチェ・フライトします。私達の他に仏伊混成隊がH A J '86ルートを、私達は南稜をと考えています。

カトマンズにて チョー・アウイ 大西 保

東京集会のお知らせ

日時 10月28日(月)午後7時

隊とヤンラ・カンリ偵察隊の報告を行います。

会費は1000円。

場所 H A Jルーム(地下鉄有楽町線東池袋下車4番出口から地上に出て右へ徒歩2分)又は、JR大塚駅下車、都電荒川線の早稲田方面2つ目の東池袋4丁目下車、前方で右に折れて地下鉄出口から徒歩2分)

■財政支援金

浅見昭夫5千円 林英子2千円

東京新聞の本

登山のオールラウンド情報誌



毎月15日発売(日・祝日の場合は16日) 定価670円

■本誌の年間購読ご案内

本誌の購読は、全国の書店、東京新聞販売店、中日新聞販売店、北陸中日新聞販売店で承ります。

直接購読ご希望の方は、とじ込みの振替用紙に「岳人何月号」からとお書きのうえ、送り先郵便番号、住所、氏名を明記して、ご送金ください。

郵送料は通常号116円、特大号124円です。年間購読料は8,480円で送料は当社負担です。お求めの本誌に乱丁、落丁がありましたらお取り替えいたします。

■第1特集

- 1月号★アイゼン、輪かん、スキータイプ別雪山山行
- 2月号 自然案内人と山を歩こう 山をもっと味わうために
- 3月号★全員集合/山スキー・フリーク
- 4月号 自然の源・針葉樹と広葉樹、照葉樹の森を歩く
- 5月号★GWに楽しむ山 雪稜・新緑そして花の山
- 6月号 北海道の山と人 日高、大雪、知床をめぐる
- 7月号★眺者がつくる夏山プラン ファミリー賛歌
- 8月号 湿原の山旅 地図で探したとおきの池浦 私の好きな山小屋 近郊の山から北アルプスまで
- 10月号★HOW TO 紅葉の山を味わう 撮る、描く、遊ぶ
- 11月号 ローカル線の山旅 徹底ガイド付き
- 12月号 実践/雪山へのいざない(入門編)

(★は特大号となります)

■特別企画

- 1月号 「僕でも登れる？」 — 冬のハケ岳を楽しむ
- 2月号 「僕でも登れる？」 — アイスクライミングに挑戦
- 3月号 「僕でも登れる？」 — 尾瀬で山岳スキーに開眼
- 4月号 「僕でも登れる？」 — これぞ岳人、春雪の西穂高岳へ(12回完結)
- 5月号 「アルプス・ツェルマット研究」
- 6月号 「モンブラン一周トレッキング」
- 7月号 「花のアルプス・ハイキング」
- 8月号 「ドロマチの岩塔に遊ぶ」
- 9月号 「南米ロライマ山にロストワールドを訪ねる」
- 10月号 「ニュージーランド——手付かずの自然を楽しむ」
- 11月号 「海外トレックの王道・エベレスト街道を行く」
- 12月号 「冬の北米、アウトドアライフ最新事情」

東京新聞出版局(中日新聞) 〒108 東京都港区港南2-3-13 ☎(03)3740-2674 書店で発売中。中日新聞販売店でも取りつぎます。

■ 寸 感 ■

ヒマラヤも300号を数えることになった。山溪、岳人両誌には及ばないが、並大抵のことではできないことである。

100号では外部の識者との懇談を載せた。200号では、篤名での21世紀を展望した座談会を載せた。300号は御覧のようなアンケートとなった。

最近のヒマラヤ誌上は、商業誌ではなかなかページがとれないようなことを取り上げることが多い。テイクイン、テイクアウトやプラブーツ突然破壊のように目に見えることですら商業誌では掘り下げた取り上げ方がされずらい時代である。

ヒマラヤの任務は重いと思わざるを得ない。

(山森)

事務局日誌 (9月)

- 4日(水) 山森専務理事中国から帰国
岳龍会(橋本総理と山を語る会、
山森、八木原)
- 10日(火) ヒマラヤ299号発送

- 12日(木) ネパール観光省より「ネパール・ヒマラヤ登頂者リスト」依頼FAX
- 14日~15日 ヤンラ・カンリ合宿(ルーム)
- 18日(水) プラブーツ懇談会(於HAJ、山森)
- 25日(水) 山森専務理事ヤンラ・カンリ偵察のためチベットへ出発
- 26日(木) ネパール山岳博物館協議(於HAJ)
- 27日(金) JACK 2 報告会(中川)
- 30日(月) 東京集会(14名)

ヒマラヤ No.300 (11月号)

平成8年10月10日印刷 8年11月1日発行

発行人 稲田 定重

編集人 山森 欣一

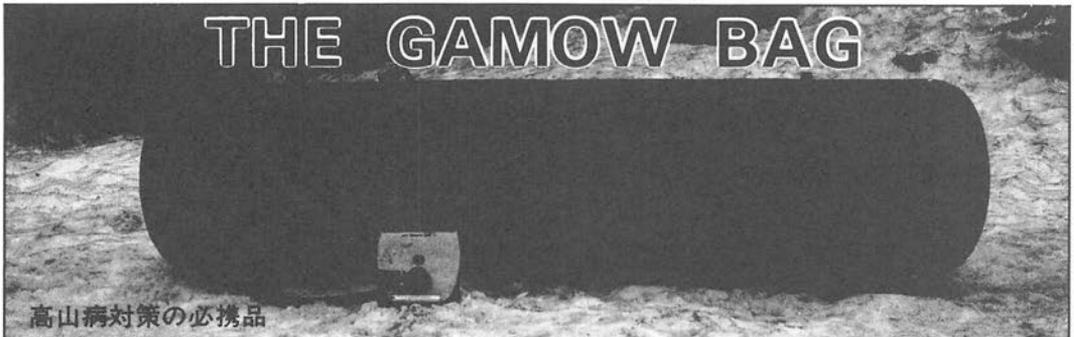
発行所 日本ヒマラヤ協会

〒170 東京都豊島区東池袋4-2-7

萬栄ビル501号

電話 03-3988-8474

郵便振替 00100-6-48954 「日本ヒマラヤ協会」



ガモフバッグとパルスオキシメーターのレンタル開始!

加圧しただけで約2000m下山したのと同じ環境を作るガモフバッグ、高山病診断、予防のためのパルスオキシメーター。高所を目指すあなたをそろって力強くサポートします。

●ガモフバッグ(携帯用高压バッグ/総重量6.7kg)

●パルスオキシメーター

(血中酸素飽和度測定装置/重量380g/単3乾電池4本使用/携帯型)

総代理店 : 日本メディコ株式会社

レンタル・販売問い合わせ先 : 株式会社 ティ・エッチ・アイ

〒135 東京都江東区木場2-5-7 KHビル7階

TEL : 03-5245-0511 FAX : 03-5245-0510

(隊荷の輸送、航空券の手配などもお任せください。)

TREASURE TOUR



EXPEDITION & TREKKING

自分の旅だから、自分でつくる。そんなあなたを応援いたします。

—— 遠征隊、トレッキング、秘境への旅 ——

あらゆる申請・許可取得、現地手配、航空券、山岳保険など、
お客様のご要望に遠征経験豊富なスタッフがお答えします。



マウンテンラベル株式会社

〒105 東京都港区新橋3-26-3 会計ビル4F

☎03-3574-8880

三井航空サービス代理店2452号

遙かなる旅



個人・グループの手配旅行、航空券の取り扱い専門デスク



キャラバンデスク TEL03-3237-8384

～地球の果てまであなたのキャラバンのお手伝い～

トレッキング・登山隊の許可取得から航空券・現地手配までお引き受けいたします。
～ネパール・インド・ブータン・パキスタン・東南アジア・アフリカ・南米～

トレッキング・海外登山
シルクロード・秘境旅行
のバイオンア



株式会社 西遊旅行

東京本社 〒101 東京都千代田区神田神保町2-3-1岩波書店アネックス5階 ☎03(3237)1391(代表)

キャラバンデスク 〒101 東京都千代田区神田神保町2-3-1岩波書店アネックス5階 ☎03(3237)8384(代表)

大阪営業所 〒530 大阪市北区神山町6-4 北川ビル5F ☎06(367)1391(代表)

カトマンズ営業所 JAI HIMAL TREKKING(P) Ltd. P.O. BOX3017 KATHMANDU, NEPAL ☎221707

運輸大臣登録一般旅行業607号

ヒマラヤへの装備

●遠征隊の装備、相談にのります。



Mt. EXPEDITION SHOP ICI ISHII SPORTS

- 登山本店/〒169 東京都新宿区百人町2-2-3 ☎03(3208)6601代
- スキー&カメラ本店/〒169 東京都新宿区大久保2-18-10 ☎03(3209)5547代
- 新宿西口店/〒160 東京都新宿区西新宿1-16-7 ☎03(3346)0301代
- 新宿南口店/〒151 東京都渋谷区代々木1-58-4 ☎03(5350)0561
- 神田登山店/〒101 東京都千代田区神田神保町1-8 ☎03(3295)0622
- 神田店/〒101 東京都千代田区神田神保町1-4 ☎03(3295)3215
- 神田ウェア館/〒101 東京都千代田区神田神保町1-6-1 ☎03(3295)6060
- 八王子店/〒192 東京都八王子市横山町3-12 ☎0426(46)5211
- アネックス八王子店/〒192 東京都八王子市横山町3-6 ☎0426(46)3922
- 川越店/〒350 埼玉県川越市南通町14番4 ☎0492(26)6751
- 大宮店/〒330 埼玉県大宮市宮町2-123 ☎048(641)5707
- 高崎店/〒370 群馬県高崎市新町5-3 ☎0273(27)2397
- 松本店/〒390 長野県松本市中央2-4-3 ☎0263(36)3039
- 新潟店/〒950 新潟県新潟市東大通2-5-1 ☎025(243)6330

- 新潟ブラーカ店/〒950 新潟県新潟市天神1-1 ブラーカ3 B1 ☎025(240)2316
- 仙台店/〒980 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-1-8 ☎022(297)2442
- 盛岡大通店/〒020 岩手県盛岡市大通1-10-16 ☎0196(26)2122
- 札幌店/〒060 札幌市中央区南二条西4-8 ☎011(222)3535
- ルート36真栄店/〒004 札幌市豊平区真栄一条2-13-2 ☎011(883)4477
- 北十二条店/〒001 札幌市北区北十二条西3-5 ☎011(747)3062
- 2番街店/〒060 札幌市中央区南二条西1-5 ☎011(219)1413
- 旭川店/〒070 旭川市六条通8-37-2 ☎0166(24)5300
- 外商部(メールオーダー)/〒169 東京都新宿区百人町2-2-3 ☎03(3200)7219



ICI 石井スポーツ

事務所/〒169 東京都新宿区百人町1-4-15 ☎03-3200-1004